

アカデミックフェス 事後レポート

企画名： 明大生スペイン語スピーチコンテスト

企画名（英語）： Spanish Speech Contest for Meiji University Students

時 間： 15：00～16：30

会 場： アカデミーコモン ROOM-C（A2会議室）

登壇者： 旦敬介（国際日本学部専任教授）

斎藤文子（東京大学教授、日本イスパニヤ学会会長）

窪田有佳子（駐日コロンビア大使館教育・学術交流担当）

佐々木誠之介（元トーマン中南米部門支配人、前明治大学体育会空手部監督）

井垣昌（早稲田大学ほか非常勤講師）

木崎孝嘉（日本大学ほか非常勤講師）

本コンテストへの参加学生。

開催概要：

様々な学部に所属する 6 名の学生から申し込みを受けてスペイン語スピーチコンテストを実施した。それぞれのスピーチを内容、表現力、暗誦の度合いといった観点から審査し、点数が高かった順に最優秀賞や優秀賞の受賞式を行った。参加学生に対しては本コンテストの関係者からスペイン語の学習に関するアドバイスはもちろんのこと、哲学的な含蓄ある数々の言葉が寄せられるなど、人格の形成に役立つ教育効果の側面も併せ持つ非常に有意義なコンテストとなった。

開催概要（英語）：

This Spanish speech contest was held by the participation of six Meiji University students who belong to different faculties. Each speech was evaluated by various criteria. After listening to all speeches, the distinguished ones were selected, and the award ceremony was held. Some comments for speakers were extremely valuable not only for the future learning of the Spanish language, but also as significant philosophical lessons for the participants.

開催内容：

コンテストは企画責任者（武田和久 [政治経済学部]）ならびに旦啓介本学専任教授の挨拶を皮切りに始まり、6 人の学生が一人あたり 3 分を持ち時間として、スペイン語によるスピーチを行った。学生たちが所属する学部、学年、性別は千差万別であり、個々の学生はコンテストのチラシの内容に関心を持ち、最終的には自己の判断に基づい

て参加を申し込んできた。不特定多数の人の前で母語以外の言語を用いて特定のテーマについてスピーチすることは決して優しくはない。6人の学生はそれぞれ自らこのような困難な課題に敢えて挑戦したわけであり、その勇気と決断は率直に高い評価に値する。

それぞれのスピーチの内容はやはり多岐にわたっていた。スペイン語圏における海外旅行や短期留学の思い出、旅先でのトラブル、食文化に関してユーモアを交えたエピソードなど、どれも学生個々人の体験に基づいた生のテーマという印象が強かった。

6名のスピーチのうち、上位3名の点数は非常に僅差であり、審査員の間でも甲乙つけがたいという意見が出た。それほどまでにこれら3名のスピーチについては、内容や表現力、そして何より原稿を見ることなく聴衆と向き合ってなされたという点において、高い評価が下された。逆にどうしても、上位入賞できなかったスピーチについては、原稿の暗唱が大きな課題となった。以上の見解は斎藤文子氏の講評に基づく。

また今回、このようなコンテストを開催した大きな意義としては、スペイン語を専門とはしなくてもその勉学に日々励んでいる学生たちに発せられた企画関係者からの魂がこもった数々のメッセージである。前述の旦教授は「今学んでいるスペイン語は今後あなた方に役立つ」と述べ、窪田有佳子氏からはご自身のスペイン語学習の経験を踏まえて日々の勉強継続の意義と重要性が説かれ、コロンビア政府奨学金（同国への留学制度）についても紹介があった。佐々木誠之介氏は、本コンテストは多くの方々の親切と努力によって実現されたのであり、参加学生はそうしたご厚意をしっかりと胸に刻み、これからの人生の中で誰かに対して恩返しすることを忘れないようにと、力強い言葉を発した。さらに協賛のアエロメヒコ航空の加藤欣弥氏からは、人生は毎日が挑戦であるため、自身が少しずつでも日々成長できるように努力を絶やさないようにという、同じく熱いエールが送られた。

最後に、イベント終了後には、参加学生と審査員は自発的に場所を移し、世代を超えた友愛的な交流の時間を飲食しながら共有したことを記しておきたい。

本イベントは多くの方々のご協力なくしては実現できなかった。駐日コロンビア大使館からのご後援、アエロメヒコ航空、HIS、CLIC International House Sevillaからのご協賛に加えて、その他様々な団体や会社、個人の皆様に、企画責任者として心から御礼申し上げたい。本当にどうもありがとうございました。

以 上